令和7年第4回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和7年3月27日（木）午後2時02分から午後3時15分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	潮見 眞千子
教育委員	牛川 由美	教育委員	久原 寛
教育委員	和田 法明		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（9名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	轟 治峰
学校教育課長	江中 誠	学校給食課長	八尋 優一
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	小鹿野 亮
文化・スポーツ振興課長	安樂 鉄平	主任指導主事	鬼木 恵美
指導主事	西村 幸治		

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 末次 勝也

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和7年第2回筑紫野市教育委員会会議録（令和7年2月27日開催）

令和7年第3回筑紫野市教育委員会会議録（令和7年3月12日開催）

2. 教育長の報告について

3. 議案第9号 令和7年度筑紫野市教育振興基本計画について

4. 議案第10号 筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制

定について

5. 議案第11号 筑紫野市奨学生の選考について
6. 議案第12号 筑紫野市奨学生の選考について
7. 議案第13号 筑紫野市奨学生の選考について
8. 議案第14号 筑紫野市スポーツ推進委員の委嘱について
9. 議案第15号 筑紫野市スポーツ指導者資格取得助成金交付要綱の制定について
10. 議案第16号 筑紫野市スポーツ推進計画について
11. 議案第17号 「大賀家文書」の市有形文化財（古文書）指定について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【定例会】令和7年4月25日（金）午後3時00分 筑紫野市役所 301会議室

会議録

○教育長：事務局から報告をお願いします。

○教育政策課庶務担当係長：本日の会議の傍聴は0名でございます。ご報告させていただきます。

○教育長：ただいまから令和7年第4回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。それでは、議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和7年2月27日開催の令和7年第2回筑紫野市教育委員会会議録及び令和7年3月12日開催の令和7年第3回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することにご異議はありますか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第2、教育長の報告の件

○教育長：

① 3月6日（木）8時より、3月臨時校長会を実施

年度末の教職員の人事異動の内示を校長に指示

該当者に内示 14：00～ ※児童・生徒を下校させた後に実施

→ 結果、苦情なし

※3月5日（水）16：30～ 臨時教育委員会（内示の確認）

② 幼・小・中学校の卒園式及び卒業式について

山家幼稚園 3月13日（木） 14人（昨年 10人）

中学校 3月7日（金） 991人（昨年 1,052人）

小学校 3月14日（金） 1,051人（昨年 1,020人）

※コロナウイルス感染症等の対策を取りつつ、

ほぼ元の形式等で実施 → 幼稚園及び全ての学校で無事に終了

③ 幼・小・中学校の修了式及び離任式について

期日 3月24日（月）

形態 集合型で実施

④ 年度末から年度初めにかけての日程について（資料1）

⑤ 幼・小・中学校の入園式及び入学式について

山家幼稚園	4月11日(金)	10人	(昨年 5人)
中学校	4月9日(水)	1,014人	(昨年 967人)
小学校	4月10日(木)	969人	(昨年 984人)

※コロナウイルス感染症等の拡大防止の観点から、卒業式の時と同様な対応で実施予定

⑥ その他

(1) 令和7年度 市校長会、教頭会、教育委員会合同歓送迎会について

未定(検討中)

(2) 教育部の市職員の異動について

○教育長：ただいまの報告について、質疑ありませんか。

○(特になし)

○教育長：それでは、私からの報告はこれで終わりたいと思います。

日程第3、議案第9号、令和7年度筑紫野市教育振興基本計画について

○教育政策課長：(提案理由の説明)

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○(特になし)

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○(特になし)

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第10号、筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について

○教育政策課長：(提案理由の説明)

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○(特になし)

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○(特になし)

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第5、議案第11号、筑紫野市奨学生の選考について

○学校教育課長：(提案理由の説明)

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第6、議案第12号、筑紫野市奨学生の選考について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第7、議案第13号、筑紫野市奨学生の選考について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○牛川教育委員：推薦は全然構わないんですけど、先ほどの方と同じ御家族で、お父さんが初めて出てきたのは、一緒に住んでいらっしゃるお父様がいらっしゃるということですか。

○学校教育課長：一緒に住んでいらっしゃいますが、無職。収入がないという形でございます。

○牛川教育委員：大丈夫です。ありがとうございます。

○教育長：他に質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第8、議案第14号、筑紫野市スポーツ推進委員の委嘱について

○文化・スポーツ振興課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○潮見教育委員：私が聞くのも何ですが、以前、体育協会から選出されていたと思うんですけど、今はどういう状態になっているのですか。

○文化・スポーツ振興課長：今は体育協会からの選出はないという状況になっております。ただ、

スポーツ少年団というのがありまして、こちらが体育協会の下部組織になるというところではありません。

○潮見教育委員：兼ねてということではないですよ。

○文化・スポーツ振興課長：兼ねてではないです。あくまで下部団体の話になりますので。

○潮見教育委員：推薦依頼は出されているのですか。

○文化・スポーツ振興課長：出してないです。

○潮見教育委員：出してないんですか。じゃあこれからも出されないのですか。

○文化・スポーツ振興課長：基本的に推薦団体がありますので、そこで出ているはずなので、そこに関しては多分してないと。前回も同様だったと思うのですが。

○潮見教育委員：以前は体育協会が推薦団体に入っていたので、推薦依頼が出されていたと思いますけど。

○文化・スポーツ振興課長：入ってなかったと思うんですけども、そこに関しては改めて確認します。

○教育長：しばらくはこの推薦団体の枠の中から出てあるわけですね。

○文化・スポーツ振興課長：はい、そういうことで認識しております。

○潮見教育委員：推薦依頼を出されて、相手方が出さないか、出せる状況じゃないというのか、それとももう選出依頼をしないということなのか、そのところははっきりしていたほうがいいかなど。

○文化・スポーツ振興課長：今、現段階ではそこに関してはしていないという認識でございます。ただ、そこに関しては再度確認をさせていただきたいと思っております。

○教育長：よろしいですか。

○潮見教育委員：はい。分かりました。

○教育長：よろしく申し上げます。他にございませんか。

○久原教育委員：推薦団体がスポーツ振興会と運営協議会と区とありますが、この辺の何か決まりはあるのでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：各地区によって呼称が違うので、こういった形になってはいますが、基本的には行政区です。行政区単位で出させていただいているところになります。スポーツ振興会がないところもございますので、そういったところも含めての形になっております。

○久原教育委員：振興会があるところとコミュニティ運営協議会というところは何でかなと思ってですね。例えば、筑紫南コミュニティの関係で言うと、コミュニティ運営協議会はないんですけど、美しが丘南と原田、それから筑紫東小学校のスポーツ振興会。この原田小学校区にはこの校区振興会がないからこんなふうになっているのだらうと思いますけど。

要するにコミュニティ運営協議会のほうは、区長会とスポーツ振興会も含まれているし、どういう意味合いがあるのかなと思ったりもしました。できればスポーツ振興会がそれぞれ関わってありますので、そこから推薦されるようになると一番いいのかなという気がします。コミュニティ運営協議会が選考に関わる部分で推薦がどういうふうにされているかなと、ちょっと分からないところがあって、それで質問しました。

○潮見教育委員：30年ぐらい前かもしれないんですけど、もともと各地域、小学校区にスポーツ振興会をつくりたいという意向があって、それでこのスポーツ推進委員さんたちに関わってもらおうというお話で、このスポーツ推進委員さんの人数もいっぱい増やしたという経緯がありました。また、運営協議会というのがまだない頃は、全部振興会になっていたのではないかと思います。地域のことをすることには変わりはないと思うので、ちょっとそのところを一度きれいに整理されたほうがいいと思います。推薦されている方々は活躍もされていますし、多分、地元から推薦されてきている方たちだろうとは思いますが。

○文化・スポーツ振興課長：そうですね。

○教育部長：以前は、振興会に全部推薦依頼を出していたと思います。それが、現在、コミュニティ運営協議会が組織され、コミュニティとスポーツ振興会とどちらのほうから推薦をいただくかといったところの打合せをした経過があるのではないかと思います。

○文化・スポーツ振興課長：そうですね。一旦整理して次回の教育委員会で説明させていただきたいと思います。

○教育長：他に質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。推薦団体のこれまでの経過と今後の整理については次回教育委員会で所管課より説明があるということで、本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第9、議案第15号、筑紫野市スポーツ指導者資格取得助成金交付要綱の制定について

○文化・振興課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○久原教育委員：このスポーツ指導者資格取得の助成金の件については、スポーツ推進計画にも載っていたと思いますが、現実的な問題として、この助成金を受けて資格を取得する人がどの程度いるのかどうか。今後、指導者の育成が大きな課題としてあるわけで、それを前に進めるための取り組みをどのように考えてあるのかをお尋ねします。

○文化・スポーツ振興課長：まず、一番大事なことは広報だと思っております。

まず、一般市民の方にこの要綱を知っていただく、その指導者の候補になり得る方が第1点です。それから関係団体に関しても、こちらの周知はしっかりさせていただきたいと思っております。そのため、何名の方が申請されるのかという見込みは現段階では出ていない状況でございます。以上です。

○潮見教育委員：第3条の（2）の職業スポーツ従事者でない者ということが書かれているのですが、これはプロのスポーツ選手を現役でしている方という意味ですか。

○文化・スポーツ振興課長：これに関しては、生業としてスポーツ従事者である方については対象としないということになります。今回この要綱を策定するに当たり、他自治体の策定状況などを調べたところ、こちらの文言が多数入っていることがございました。内容的にも、生業とするのであれば、その資格自体を使ってお金を得るということになりますので、そこに関しては除くことが適当だと考えたところでございます。

○潮見教育委員：そしたら、例えば少年野球の指導を現在されていて、保護者の方から謝金を頂きながらであっても、生業ではない。お仕事は別に持っていてしているとかいう方は大丈夫ということですか。

○文化・スポーツ振興課長：おっしゃるとおりでございます。あくまで主としてというところですよ。

○潮見教育委員：それと、もう1点。更新というのは、1年ごとの更新になるのですか。

○文化・スポーツ振興課長：たしか2年だったと思いますが。正確なところを確認してご報告します。

○潮見教育委員：じゃあ、また次回お願いします。

○教育長：ありがとうございました。他よろしいですか。

○牛川教育委員：公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格がいろいろあったと思うんですけども、今のところはスタートコーチだけという感じですか。

例えば、本当に部活動とかになると、指導するだけではなくて、例えばトレーナー部分であったり食事管理だったり、そういう専門の資格もたしかこの指導者資格の中に取りれるよと入っていたと思うんですけども、今のところはそういったものについては助成がないということでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：そのとおりでございます。まず、このスタートコーチ（ジュニア・ユース）といいますのが、今回この要綱の主な理由としては、やっぱり中学校部活動の指導員というところがありまして、日本スポーツ協会が地域移行の指導員に対してこの資格が有効性があるとうたってありましたので、現在のところ、こちらに限定させていただいております。

○教育長：よろしいですか。

○文化・スポーツ振興課長：すみません、先ほどの宿題が解決しましたのでご報告します。

この資格は4年間でございます。

○潮見教育委員：はい、早速ありがとうございました。

○教育長：それでは、この件につきましてはよろしいでしょうか。

○久原教育委員：先ほどのことですが、地域移行関係でも、このジュニア・ユースに限っているような状況ですよね。要するに、そういう資格がなくても指導する人を増やしていかないかんというところがありますよね。スポーツ推進計画にもそこら辺は出ていますけど、これだけじゃなくて幅広く指導者の確保というのが出てくると思うので、そこら辺はまた御検討ください。

○教育長：ありがとうございます

○潮見教育委員：もう1度確認ですけど、資格を持ってなくても地域移行で指導はできるんですよ。これは、助成いただきたいという方のものですよね。

○文化・スポーツ振興課長：地域移行に関しては今年方針が決まりまして、来年度実行委員会をつくりまして、その中で決定していくこととなります。これを必須とするかどうか、今のところ決まっておりませんが、法的にこれを取らないとできないというものではございません。ただ、最低でもこういったものがありますので、これを取ってみませんかという話に関しては必ずすべきだと考えています。以上です。

○教育長：よろしいですか。

○潮見教育委員：分かりました。ありがとうございました。

○教育長：他に質疑はよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第10、議案第16号、筑紫野市スポーツ推進計画について

○文化・スポーツ振興課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第11、議案第17号、「大賀家文書」の市有形文化財（古文書）指定について

○文化財課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○潮見教育委員：この収蔵庫というのは、どこにあるんですか。

○文化財課長：筑紫野市の歴史博物館の2階に収蔵庫がございまして、一般と特別とあるんですが、一般収蔵庫のほうにラックを置きまして保管をしております。

○潮見教育委員：かなりの量だから大変ですよ。

○文化財課長：そうですね。

○教育長：そこは誰でも入れないんですか。

○文化財課長：職員、学芸員が同行の上であれば御覧いただくことができます。もし秋の展示会でまた見ていただくときに機会があれば。バックヤードツアーも少し企画しようかなと思っています。

○潮見教育委員：国博みたいね。

○教育長：すごいですよね、これだけのものが残っているというのは本当にすごいなど。じゃあ、1回そうやって見せていただくことも可能ですね。

○文化財課長：はい。

○教育長：分かりました。他に質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

それでは、本日の議事はこれで終了いたしました。

続きまして、各課等からの報告に移りたいと思います。

教育部長からお願いします。

○教育部長：私のほうから、3月議会についての報告をさせていただきます。

令和7年の第2回市議会定例会が2月25日から3月26日までの30日間開催されました。昨日、閉会したところであります。

今回の議会の主となるものが、令和7年度の一般会計当初予算案の提出ということで、教育部に関する来年度の予算も多く額を予算措置していただいて、全体で428億8,600万円ほどの一般会計当初予算を可決していただいたところでございます。このほか全部で38議案が全て可決されました。令和7年度は、この予算に基づいて、しっかりと予定している事業を進めてまいりたい

と考えております。以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

○教育政策課長：私からは1点でございます。報告事項の右のページ、令和7年度の教育委員会開催予定日ということで、御覧の日程で開催させていただきたいと思っておりますが、4月24日開催の分につきましては、諸般の事情により、25日金曜日15時から301会議室での開催をとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

会議終了後は、人事異動等もございますので、教育委員会の皆様、それから事務局の係長以上の職員、それから異動対象者を含めての歓送迎会を予定しておりますので、どうぞ御出席賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

○学校教育課長：私からは2点でございます。

1点目です。教育委員さん皆さんのお手元に封筒を置かせていただいておりますが、こちらは3月31日に行われる退職者辞令交付式と、4月1日に行われる教職員の赴任式の御案内文書を入れさせていただきます。御出席のほうよろしくお願ひしたいと思っております。

次、2点目です。中学校の入学式が4月9日でございます。あと、小学校の入学式が4月10日でございます。こちらは今、案内状を作成中でございますので、3月31日の退職者辞令交付式のときに皆さんにお渡しできるようにしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。学校教育課は以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

○学校給食課長：資料の34ページからでございます。

新年度4月分の小学校、中学校の献立表を載せさせていただきます。

まず、全体的にといいましょうか、4月8日が給食のスタートということで、小学校の場合が新1年生は10日に入学して、1週間後の17日木曜日から給食が始まります。中学校の場合も入学式がございますけれども、その翌日からスタートするということです。来年も1年間、安全安心な給食提供に努めてまいりたいと思ひます。以上です。

○教育長：ありがとうございました。

○生涯学習課長：特にございません。

○教育長：ありがとうございました。

○文化・スポーツ振興課長：スポーツ関連で1点御報告です。

サッカーのアビスパ福岡の筑紫野市応援デーが、4月6日日曜日に決定しました。詳細につきましては、お手元のチラシを見ていただきたいと思います。ぜひ御都合が合えば参加していただけたらと思っております。対戦相手が浦和レッズというところで、かなり盛り上がるんじゃないかなと思います。試合もそうですけど、観客も見て楽しめるのではないかなと思いますので、ぜひ都合が合えばお願いしたいと思います。以上になります。

○教育長：ありがとうございました。ぜひ、お時間がある方はお願いします。

○文化財課長：文化財課からの御報告は2件です。

まず、事業の成果報告ですが、資料の38ページをお開きください。

歴史博物館の令和6年度小学校の冬の学習支援の事業の報告でございます。

1月11日から2月28日にかけて、博物館エントランスホールにおきまして「筑紫野市のうつりかわり展」という写真パネル等の展示を開催いたしました。それと併せまして、博物館2階の研修室を使いまして、「昔の道具を体験しよう」という受入れを行っております。

資料の下のほうに表をつけておりますが、実績につきましては、市内11校中6校の来館があって、児童数の総計は604人ございました。昔の道具の貸出しのみを希望された学校も4校ございましたので、6足す4で10校が実績でございます。

毎年やっている取組になりますので、次年度以降も取組の拡大を目指すとともに、引き続き工夫をしながら実施をしてみたいと考えてございます。

それから、次の39ページになりますが、五郎山古墳館の春の体験イベントのチラシを資料にさせていただいております。国指定史跡である五郎山古墳について、市民や来館者に体験イベントを通じて装飾古墳に親しみながら理解を深めていただくと。また、五郎山古墳館の利用促進を図ることを目的に実施するイベントになります。開催は3月22日から4月6日ということで実施いたします。

また、併せまして、子どもたちが学芸員と触れ合って、装飾古墳の五郎山古墳に親しんでいただくことを目的として、ちょっと長いんですけど、子ども向け体験イベント「ドキドキ古墳体験！学芸員と一緒に五郎山古墳を探検しよう！」という、何か探検っぽい感じの企画を試験的に実施しています。どのような状況になるかというのを、またいろいろ情報を得ながら、本格的に実施ができるように工夫をしてみたいと思っておりますが、30分程度の時間の中で、五郎山古墳の画像を見ながら理解をしていただいたりとか、レプリカの中に入って文様探しを、探検をしようみたいな形の企画でございます。

試験的に実施しますので、この事業については、2月26日の午前と午後の2部構成ということで、対象は5歳から小学校4年生ぐらいまでということで、各回10人ほどの事前申込みということで対応するようにしております。報告は以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。利用する学校は、今年はしていないけど来年は参加するという学校もあるでしょうね。11校中6校しかと言ったら悪いけど、手を挙げてなかったですね。

○文化財課長：そうですね。学校の都合とかいろいろな状況もありまして、資料だけを借りたいという学校もあります。来館することも重要ですけども、それだけではない選択的なことで今やっていますが、ただ一方で、なるべく1回は博物館に来ていただくという流れも拡大はしていきたいとは思っていますので、その辺りはまた引き続き。

○教育長：そうですね。ぜひ、どの学校にも手を挙げるようにしてもらえればと思います。よろしくをお願いします。

○教育長：ご報告ありがとうございました。

それでは続きまして、その他に移りたいと思います。

教育委員、部課長さんたちのほうから何かあれば申し出てください。

○久原教育委員：文化財の関係で、今テレビ等でも話題になっています「西の都」の国指定が取消しになったのが全国的には初めてということで、その理由が、周りの自治体の連携があまりできていないということだったと思うんですけど、今後に向けて何か方策なりが考えられているのでしょうか。

○文化財課長：御説明申し上げますと、新聞報道等で今御指摘の日本遺産に関してはおおむね御承知だとは思いますが、確かに非常に構成自治体の市町の連携が不足しているとかいうことは新聞等にも書かれておりました。それは実態としてはそういう側面もあるんだろうと感じています。ただ、その後、福岡県のほうが、もともと太宰府市が単独型で、平成27年でしたか、始められたものを広域拡大化してシリアル化したと。自治体を越えているものですから、県が主導すると、事務局も県にありますというような状況で進めてまいったところがありますので、一応その協議会というのがありますが、その協議会の中で今後方針をいろいろ議論しながら、今後の対応については決定していくと聞いてはおりますが、まだ協議会の開催が決まっておりませんので、その辺りは県のほうに確認しながら、課長級の会議になりますので、私がその場に行くこととなりますから、商工観光課長と文化財課長ということで対応していきたいと思っております。

ただ、先月の委員会で少し報告はさせていただいたんですけど、それ以降の変化というか、新しい情報とか、そういったことはまだございませんので、ちょっと今のところは御報告できる状況にはないということですね。ただ、再認定を目指すとか目指さないとか、社会的な影響がやっぱり大きく市のほうもありましたし、市民の方も大変心配されている方も多うございますので、その辺りについては丁寧に対応していきたいとは考えているところでございます。

○教育長：よろしいですか。

○久原教育委員：はい。

○教育長：他にございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、これをもちまして令和7年第4回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。